



林町の教育



<http://www.bunkyo-tyky.ed.jp/hayashichou-ps/>

令和6年1月9日発行

明けましておめでとうございます

校長 津島 弘和

新年あけましておめでとうございます。穏やかな新春を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、「一年の計は、元旦にあり」と言われます。年頭に当たって、ご家庭でも子どもたちが目標を設定されたことと思います。そのときに、2学期末にお渡しした通知表の「あゆみ」をご活用いただいていたら幸甚です。

教員が通知表「あゆみ」で所見の文章を作成する際に、「① 子どもたちの良かったところを見つけて欲しい。」、「② 子どもたちの頑張っている過程を評価してほしい。」と言うことを伝えました。

まず、①の良かったところを見付けると言うことは、褒めると言うことに繋がります。これについては、1925年に発達心理学者のエリザベス・B・ハーロックが報告した賞罰実験が有名です。

【実験の概要】

子どもたちを三つのグループに分ける。

試験の度にできたところだけ褒められ続けるAグループ

試験の度にできていないところを叱られ続けるBグループ

何も言われないCグループ

三つの評価をしながら算数の試験を数回受けさせ点数がどのように伸びるのかについて観察する。

【実験の結果】

Aグループは、徐々に成績が上がり続けた。

Bグループは、はじめ叱られないようにCグループより伸びるが、それ以降低下した。

Cグループは、はじめ成績が少し上がり、それ以降ほとんど変化しなかった。

実験結果からも分かるように、褒めることの方が、叱ることよりも効果があることが分かります。

②については、1998年に心理学者のC・ミューラーと、C・デュエックが行った褒めるときの声のかけ方の実験が有名です。

【実験の概要】

テストの後、子どもたちには結果を隠し、個別に「あなたの結果は、100点満点の80点だ。」と告げる。その上で三つのグループに分けてコメントする。

「本当に頭が良いのだね。」と能力を褒めるDグループ

「努力の甲斐があったね。」と取り組んだ過程を褒めるEグループ

何もコメントしないFグループ

その後、さらに課題を与えたときに、「難易度が高いが、やりがいのある課題」か「簡単に解け、学びの少ない課題」のどちらを解くのかを見る。

【実験の結果】

Dグループは、「簡単に解け、学びの少ない課題」を半分より多く選んだ。

Eグループは、「難易度が高いが、やりがいのある課題」を大半を選んだ。

Fグループは、半分ずつくらいであった。

実験結果からも分かるように、努力の過程を褒められることは、モチベーションに繋がり、挑戦への活力になります。最終的に、Dグループは試験結果が下がり、Eグループは試験結果が上がっています。

ちなみに、この実験には続きがあり、更に難しいテストをさせ、そのテストの結果をみんなの前で発表させました。すると、Dグループは、40%の子どもが嘘をついて実際より高い点数を発表し、Eグループは、10%の子どもが、嘘をついて実際より高い点数を発表したそうです。

本校では、通知表にそのような思いを込めました。子どもたちの頑張りを褒めて認めて「自由闊達に夢を実現できる子ども」へと繋げていきたいと考えています。令和6年の幕開けです。本年も、同一歩調で歩いていきたいと考えています。本校の教育活動にご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

林町小学校ホームページURL <https://www.bunkyo-tyky.ed.jp/hayashichou-ps/index.cfm>

(林町小学校ホームページ「林町トピックス」では、学校の様子を紹介しています。ぜひご覧ください。)

【1月の生活指導】

体をきたえよう

《1月の行事予定》

1	月		元旦	
2	火			
3	水			
4	木			
5	金		冬季休業日終	ア
6	土			た
7	日			た
8	月		成人の日	た
9	火	学	3時間授業 始業式	
10	水	学	給食始 身体測定週間始 下校指導 安全指導	区 SC ICT ア
11	木	読	席書会 (3、4年)	ア
12	金	学	席書会 (5、6年)	区 SC ア
13	土		中学土曜授業公開	
14	日			
15	月	朝	都 SC	ア
16	火	学	委員会活動	ア
17	水	児	4時間授業	区 SC ICT ア
18	木	読	避難訓練	ア
19	金	学	学習発表会 (展示・児童鑑賞日) 書き初め展始 身体測定週間終 連合展覧会始	区 SC ア
20	土	学	特別時程3時間授業、土曜授業公開 学習発表会 (展示)	PM た
21	日			た
22	月	朝	都 SC	ア
23	火	体	長なわチャレンジ始 クラブ活動	ICT ア
24	水	体	4時間授業 連合展覧会終	区 SC ア
25	木	体	避難訓練予備日	ICT ア
26	金	学	5年社会科見学 書き初め展終	区 SC ア
27	土			た
28	日			た
29	月	朝	都 SC	ア
30	火	体	クラブ活動	ア
31	水	体	4時間授業	区 SC ア

「書き初め展に向けて」

国語担当

今年度も、教室や体育館で席書会を行います。1・2年生は、硬筆を使って50字程度の文章を書く練習をしてきました。消しゴムを使って文字を修正できないところに緊張感をもって臨んでいました。3～6年生は毛筆を使って、お手本をよく見ながら丁寧に文字を書く練習をしてきました。書き慣れない長い紙にバランス良く文字を配置するところが難関ポイントですが、全員の作品が横一列に並んだ様子は壮観です。席書会当日、一人一人が心を込めて文字を書く姿をホームページで紹介する予定ですので、楽しみにお待ちください。席書会後は、各教室前に作品を展示し、書き初め展を開催します。ぜひ、子どもたちの作品から、筆運びの力強さや、細部に光る丁寧さを感じていただければと思います。

「学習発表会に向けて」

学習発表会担当

日頃より図画工作科・家庭科の学習におきましては、材料や道具の用意等ご協力いただき、ありがとうございます。1月20日(土)は、学習発表会の保護者鑑賞日です。『色と形で結ぶ みんなの絆』をテーマに掲げ、平面作品や立体作品、家庭科の作品と併せて、各学年・ひまわり学級で取り組んだ共同作品が入口玄関から会場の体育館までの通路を飾り、行事を盛り上げます。ぜひ午後の時間もご来場いただき、林町小学校の子どもたちが色や形に出会い、作りだした作品をゆっくりご鑑賞ください。

「子どもたちの心」

区スクールカウンセラー

「相談できるのはお母さん(お父さん)」よく聞く言葉です。一方「あまり聞いてもらえない。」そんな言葉も耳にします。子どもの話を聞くことは、意外と難しいものかもしれません。大切な我が子のお話だからこそ、心配して事情聴取のようにしつこく質問したり、批判したり、助言したり…どれも私の親としての失敗談です。「話すこと」には「分かってほしい。」「否定せずに受け止めてほしい。」気持ち根底に含まれています。分かってもらえた、受け止めてもらったという安心感は、子どもの心に余裕を生み、自分で次の一歩を見付け出すエネルギーへとつながっていきます。子どもたちの心を育てるためにも、まずは子どもの話にゆったりと耳を傾けてみてください。

区: 区スクールカウンセラー-来校日 月(都: 榊原) 木金(区: 鈴木)
校庭開放: た(たいさん木) ア(アクティ林町)